



# 石狩川流域の未来に夢を(新規事業) リバーブランディング(リバブラ)に向けて

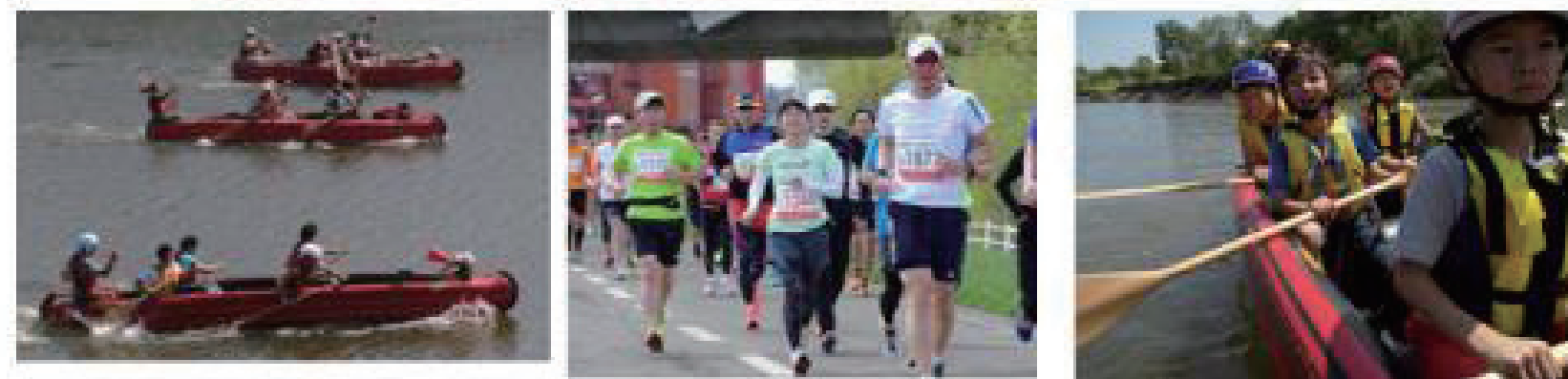
ミズベリング石狩川では、2016年9月10日・11日で行われたスタートアップ事業を通じて、未来に亘り、夢と希望を持てる魅力と活力ある石狩川流域圏となるよう育てるために、流域住民をはじめ、企業・団体・自治体などが、今までにない広がりのある多様な主体が連携・参加することにより、この河川の新たな維持・管理の仕組みづくりや新たな水辺空間利用を事業化することで、新たな民間投資などを促すことにより付加価値の高い経済活動につなげるため、この流域を一つのまとまりある流域経済圏・文化圏となるリバーブランディングを目指すことといたしました。

札幌市・旭川市などを含む46市町村で形成される石狩川流域圏は、ニュージーランドと同程度の経済規模でありながら、雄大な石狩川の自然をはじめ、産業・治水遺産、食などを、国内外にうまく発信できていない背景があるのではないかと考えております。

そこで、この流域を、ニュージーランドのように、ひとつのまとまりのある魅力ある経済圏・生活圏としていくためブランディングしていくことが必要だと考え、誰でもが参加でき、感動し、学び、楽しむことできる新たな高付加価値の体験型観光及び体験型教育(流域文化)を取り入れたブランディングを行うという視点から事業化を行い、既成概念や今までの発想を転換し、より広範囲で多様な皆様とともに積極的にビジネスモデルを模索・連携し、より魅力のある高付加価値を生み出せる新たな経済・文化価値などを創造して、「石狩川のブランド」を確立し、魅力ある持続的な発展が可能となる流域圏づくりを目指すモデル事業に着手します。

## 流育の具現化(夢)

①環境、文化、産業、その遺産、人とのふれあいなど繋ぐ多様なニーズを受け止める観光ルート(ブランド化含)開発(サイクル・フットパス・マラソン・ドライブ・川の道(川下り・遊覧船・舟運・リバーレース))  
=コモンズ(河畔林・高水敷・水辺の管理)・リバーレンジャー制度などを含め河川管理者と連携



りばインバウンド

りばコモンズ

②川辺の産業化(テラス・川遊び場・人工ホワイトウォーター施設・花畑・放牧地・川の水族館・市場など)



流域を  
流育

③最先端の治水技術を取得できる(発展途上等)  
(仮)世界治水技術研修センターの創造



りばインダストリー

りばテクノロジー

④川育を目指すアクティブラーニング  
+水辺利用の支援機能と情報発信の拠点機能を持つ  
(仮)石狩川 MIZBERING サポートセンターの創造  
(※滝川地区地域防災施設の更なる有効利用)



りばエデュケーション

りばコミュニティ



ONLY ONE

